

理科教育センターWebページにおける会員制 掲示板「理セン化学の部屋」の開設

—実践成果の共有による学習活動の活性化を目指して—

近藤 浩文

当センター化学研究班では、Web ページに会員制掲示板を開設し、全道の小中高等学校の実践成果を集めて共有することにより、観察・実験を通じた学習活動を活性化するシステムの構築を始めた。

[キーワード] 理科教育センターWebページ 会員制掲示板 観察・実験 実践成果の共有

はじめに

当センターでは、今年度、理科教育研修講座を33講座実施し、のべ497名の小中高等学校教員が受講した。研修講座は、校種別に観察・実験を中心とした内容で実施しており、中には、受講者が観察・実験教材や授業プランを3日間かけて開発する講座もあり、好評である。また、今年度から始めた道研フリープラン研修では、放課後や休日に、当センターの設備を利用して教材の開発などができることから、利用者が増えてきている。

また、北海道では理科教員による研究会活動が活発で、小中高それぞれの理科の研究会や各地域の理科サークルなどが、年間を通して地域や全道規模の研修会や研究会を実施している。

このように、多くの教員が研修を積み、優れた実践を行っているが、広域のため、多くの実践成果や研究情報を全道規模で共有し、活用できるようにすることは困難であった。当センター化学研究班では、「化学実験教材パックを用いた高等学校における授業実践」(本研究紀要 p 32) の実践成果を、当センターの Web ページから配信する計画に合わせて、次の①～③についても配信を検討した。

① 研修講座受講後の受講者の実践事例を集め、その実践成果を普及する。

② 道研フリープラン研修等の共同研究で開発した教材や授業プランなど、受講者の研究の成果を普及する。

③ 各研究会等で発表された優れた実践を普及する。

検討の結果、当センター Web ページに会員制の掲示板を開設することとし、全道の小中高等学校の実践成果を広く集めて共有することにより、観察・実験を通じた学習活動を活性化するシステムの構築を始めたので紹介する。

1 掲示板「理セン化学の部屋」の開設

掲示板は、小中高等学校の教員専用の会員制とし、IDとパスワードを入力することによりログインすることができる。



図1 「理セン化学の部屋」のページ

また、この掲示板については、次のようにルールを決めた。

理セン化学の部屋

この部屋には、小・中・高の先生方の、観察、実験を取り入れた授業実践事例（①～④）などが集められています。

- ① 指導案（授業プラン）
- ② 児童生徒に配布した資料（実験プリントなど）
- ③ 授業評価（児童生徒に実施したアンケートの結果など）
- ④ 授業風景の画像

会員の皆さんは、次のルールを守って、授業実践事例を授業に活用してください。

＜化学の部屋のルール＞

- (1) 一部を修正して活用した場合は、必ずその修正版をアップロードしてください。
- (2) 修正せずにそのまま使用した場合は、③、④をアップロードし、実施した感想や工夫した点などを掲示板に投稿してください。
- (3) 一度アップロードしたご自分のファイルについても、他の先生方の実践事例を参考にして、常にバージョンアップを図るようにしてください

フォルダ、さらにそのフォルダの中に、それぞれ、①授業案（授業の流れやポイント、留意事項を記したもの）、②生徒への配付物（実験プリントなど）、③授業評価（生徒の感想など）、④授業風景の画像のフォルダまたはファイルを納めている。

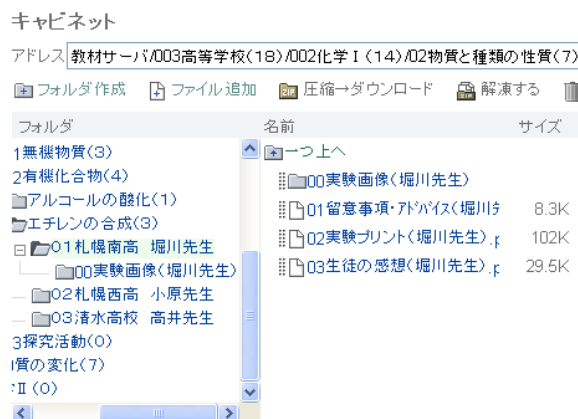


図3 教材のページの「キャビネット」

すでに、2名の会員が、キャビネット内の教材を参考にして実践し、生徒の実態に合わせて改良した教材をアップロードしているなど、このシステムは順調な滑り出しをしている。

2 活用の状況

平成21年11月に開設し、平成22年1月現在で、会員は28名、教材提供者は、小学校教諭1名、高等学校教諭9名で、教材数は、小学校1、高等学校19である。



図2 教材のページ

教材は、図2の教材のページにある図3の「キャビネット」に整理しており、単元別に分類したフォルダの中に、教材提供者の名前の付いた

おわりに

ある一人の教員が開発した教材を、別の教員が参考にすることができれば、開発に要する時間が節約され改良を加えることができる。また、改良された教材を見ることは、開発者にとってもプラスであり、さらに新しい発想へとつながる。この関係が次々と連鎖していくことが、このシステムのねらいである。また、小中高等学校それぞれの教材が充実すると、他校種の具体的な実践を知ることができるようになり、小学校と中学校及び中学校と高等学校の円滑な接続にも役立つものと考えている。

今後、物理、生物、地学のそれぞれの領域においても、各領域・科目の特質を反映した掲示板が開設できればよいと考えている。

（こんどう ひろぶみ 化学研究班）